



## 2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第1四半期の業績(2023年9月1日～2023年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	548	42.0	111	40.9	110	40.9	78	54.1
2023年8月期第1四半期	385	△8.1	78	△28.8	78	△30.2	51	△57.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	36.74	—
2023年8月期第1四半期	23.84	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	7,959		5,387			67.7
2023年8月期	7,560		5,355			70.8

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 5,387百万円 2023年8月期 5,355百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年8月期	—				
2024年8月期(予想)		22.00	—	22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,090	45.0	199	69.0	199	67.2	130	70.4	60.50
通期	2,180	24.7	430	51.4	440	51.7	290	41.4	134.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期1Q	2,901,000 株	2023年8月期	2,901,000 株
2024年8月期1Q	752,260 株	2023年8月期	752,260 株
2024年8月期1Q	2,148,740 株	2023年8月期1Q	2,148,740 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、継続する物価上昇による消費の減速など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、業績は前年並みに推移しました。賃貸・倉庫事業におきましては、カワサキテクノプラザの本稼働に加えて、カワサキ貝塚テクノプラザも2024年1月に稼働いたしました。ホテル事業におきましては、設備のリニューアルを順次進めており、2025年にはフル稼働の予定です。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高548,124千円（前年同期比42.0%の増加）、営業利益111,113千円（前年同期比40.9%の増加）、経常利益110,789千円（前年同期比40.9%の増加）、四半期純利益78,934千円（前年同期比54.1%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

## (服飾事業)

当事業部門におきましては、円安及び物価上昇による影響を受けております。引き続き販売体制の再構築、コストダウンの推進、販売在庫品目の見直し等で収益体質の改善に向けて取り組んでまいりましたが、減益となりました。その結果、売上高は155,681千円（前年同期比1.8%の増加）、営業利益は4,010千円（前年同期比62.0%の減少）となりました。

## (賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、経営資源の有効活用と更なる事業拡大に取り組んでおります。2023年4月に大型物流施設カワサキテクノプラザが稼働したことにより、業績は好調に推移しました。その結果、売上高は326,687千円（前年同期比40.2%の増加）、営業利益は122,121千円（前年同期比78.7%の増加）となりました。

## (ホテル事業)

当事業部門におきましては、お客様に快適にお過ごしいただけるよう施設のリニューアルを進めており、2025年8月期には黒字化を目指しております。ホテルレイクアルスターは、宿泊、宴会、レストランの3部門が営業の柱となっており、南海本線泉大津駅前という立地を生かし、地域密着で取り組んでおります。なお、当第1四半期累計期間は、売上高は65,754千円、営業損失は15,018千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて164,761千円(20.9%)増加し、952,826千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が90,131千円、商品及び製品が77,012千円増加したことによるものであります。

## (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて233,723千円(3.5%)増加し、7,006,571千円となりました。この主な要因は、その他が301,762千円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて381,177千円(82.9%)増加し、841,258千円となりました。この主な要因は、短期借入金300,000千円、その他が51,631千円増加したことによるものであります。

## (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて14,355千円(0.8%)減少し、

1,730,650千円となりました。この主な要因は、長期借入金が52,740千円減少し、その他が36,884千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて31,662千円(0.6%)増加し、5,387,488千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を78,934千円計上したものの、配当による減少47,272千円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	226,623	316,754
受取手形、売掛金及び契約資産	52,516	77,783
商品及び製品	218,264	295,276
原材料及び貯蔵品	30,005	36,676
その他	261,663	226,628
貸倒引当金	△1,009	△293
流動資産合計	788,064	952,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,500,831	3,441,679
機械装置及び運搬具（純額）	213,773	206,894
土地	2,571,366	2,571,366
その他（純額）	14,016	315,779
有形固定資産合計	6,299,988	6,535,720
無形固定資産	19,088	18,205
投資その他の資産	453,770	452,646
固定資産合計	6,772,847	7,006,571
資産合計	7,560,912	7,959,397

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,284	24,136
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	210,960	210,960
未払法人税等	17,015	36,999
賞与引当金	1,194	2,904
その他	214,625	266,257
流動負債合計	460,080	841,258
固定負債		
長期借入金	970,120	917,380
役員退職慰労引当金	6,716	7,466
資産除去債務	375,472	376,222
その他	392,696	429,581
固定負債合計	1,745,005	1,730,650
負債合計	2,205,085	2,571,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,800,805	4,832,468
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,355,826	5,387,488
純資産合計	5,355,826	5,387,488
負債純資産合計	7,560,912	7,959,397

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	385,933	548,124
売上原価	219,907	307,705
売上総利益	166,026	240,419
販売費及び一般管理費	87,148	129,305
営業利益	78,877	111,113
営業外収益		
受取手数料	315	505
受取家賃	498	300
その他	74	292
営業外収益合計	888	1,097
営業外費用		
支払利息	884	1,306
為替差損	274	115
営業外費用合計	1,159	1,421
経常利益	78,606	110,789
税引前四半期純利益	78,606	110,789
法人税、住民税及び事業税	20,947	36,970
法人税等調整額	6,424	△5,115
法人税等合計	27,371	31,855
四半期純利益	51,234	78,934



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	152,928	233,004	—	385,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	152,928	233,004	—	385,933
セグメント利益	10,549	68,327	—	78,877

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	155,681	326,687	65,754	548,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	155,681	326,687	65,754	548,124
セグメント利益又は損失(△)	4,010	122,121	△15,018	111,113

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。